

第4回

小学生の優勝者は
全国大会へ!

参加
無料

北海道 プログラミング コンテスト 札幌大会

新時代の才能、
集まれ!

2025 11.16 日

9:00-12:00 小学生の部

13:00-17:00 中学生の部

参加対象

北海道の小学生・中学生

※特別支援学校生を含む

使用言語

ビジュアルプログラミング言語

(Scratch, micro:bit, Stretch3 など)

作品大募集

新時代を生きる子どもたちの新たな才能を発掘するため、
今年も北海道プログラミングコンテストを開催します。

我こそはと思うキミ、オリジナル作品を作ってぜひチャレンジを!

募集期間

2025年8月1日(金) ~ 9月30日(火)

作品テーマ

自由

インタラクティブストーリーやゲーム、アニメーションなど、ビジュアルプログラミング言語(Scratch, micro:bit, Stretch3 など)を使った作品であれば形式は問いません!

小学生(高学年の部)
最優秀賞の受賞者は

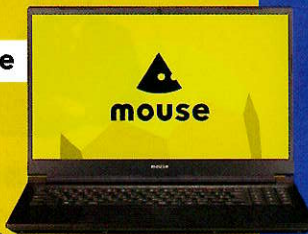
全国選抜小学生
プログラミング大会へ!

各部門
最優秀賞

マウスコンピューターの
ノートパソコン
mouse K5-I7G50BK-Bを贈呈!

各部門の受賞者にも豪華賞品を贈呈!
詳しくはホームページをCHECK!

※賞品画像は
イメージです。



応募方法

STEP 01

オリジナル作品をつくる!

ビジュアルプログラミング言語を使って、キミだけのオリジナル
作品をつくろう! ※以前に作成した作品でも応募できます!

STEP 02

ホームページから応募しよう!

右のQRコードから公式ホームページへアクセス。専用応募フォームから作品を
投稿して応募しよう! ※QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。



制作した作品を
コンテストに応募も!

今年の夏休みはプログラミング ワークショップに参加しよう!

小中学生のための

定員

全道各地
から参加
可能!

リアル

- ・初心者コース 15組(親子)
- ・大会エントリーコース
(経験者コース) 15名

オンライン

- ・初心者コース 10組(親子)
- ・大会エントリーコース
(経験者コース) 10名

対象

全道の小・中学生

会場

IKEUCHI LAB

札幌市中央区南1条西2丁目18
IKEUCHI GATE 4F



参加者募集中!

参加
無料

楽しく学べる!



- ※ 初心者コースご希望の方は、2時間の親子ワークショップになります(必ず親子でご参加ください)。
- ※ 大会エントリーコース(経験者コース)ご希望の方は、2日間連続でのワークショップとなります(お子様のみの参加可)。
- ※ パソコンは事務局でもご用意がありますが、使い慣れたご自身のパソコンをご持参いただいても結構です。

2025

7.26 土 7.27 日 8.9 土 8.10 日

10:00-12:00

13:30-15:30

詳細・お申し込みは
WEBサイトから



高校でのプログラミング教育が必修に!

皆さん、知っていますか? 2020年度から小学校、2021年度から中学校、
そして2022年度からは高校ですべての生徒がプログラミングを学ぶことが必修になりました。

CHECK!!

2025年から「情報」が大学入学共通テストの出題科目に!

POINT
1

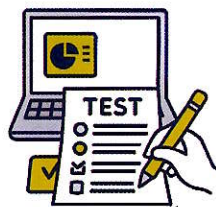
高校では全員が
プログラミングを学習



2022年度から、高校では「情報I」という新しい科目が必修になりました。全ての高校生が、プログラミング、ネットワーク、データの活用、情報モラルなどを学びます。授業では、実際にコードを書いて動かしたり、グループで課題に取り組む活動もあり、「使える力」としてのデジタルスキルが重視されています。より発展的な内容を扱う「情報II」では、AIやIoTの基礎にも触れるようになってきました。

POINT
2

“情報力”が大学入試の
合否を分ける



2025年1月実施の大学入学共通テストから、新教科「情報」が加わり7教科21科目体制へ再編されました。プログラミングやデータ分析、ネットワークやセキュリティなど、情報Iで学ぶ内容がそのまま試験範囲になります。一部の国公立大学や私立大学では、すでにこの科目を受験に使う動きも出ています。文系・理系を問わず、情報に関する基礎力が進路に大きく影響する時代が始まっています。

POINT
3

小・中ですでに必修、
基礎づくりは今!



小学校では2020年度から、算数の正多角形作図や理科の電気実験など教科内にプログラミング活動を組み込み、「命令を組み合わせて課題を解決する」体験を全児童に提供しています。中学校では技術科でネットワークを活用した課題解決が必修化され、チャットアプリやセンサー制御など実社会と結びついたテーマに挑戦。これからの時代、基礎を早いうちから身につけておくことで、高校や大学での学びにもスムーズに進むことができます。